

加古川
グリーンシティ
292号



グリーンだより

団地管理組合法人加古川グリーンシティ
管理組合広報委員会
グリーンシティ自治会
管理事務所 ☎ 425-6852
ホームページ <http://www.greencity.gr.jp/>
メールアドレス kanrikumiai@greencity.gr.jp



管理組合からのお知らせ

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

年始よりこの時期としては暖かく、季節を勘違いしてしまう陽気でスタートしましたが、今期も理事会として心新たに総会決議された事業を一つ一つ遂行していきます。

振り返ると昨年は、各所の補修や電力の節電、保険の更新と固定費用を抑える事ができました。これらについては、居住者のご理解の賜物と感謝しております。

本年は、共用部では鉄部や防水関係、照明LED化の工事をはじめインターホン設備、集会所の耐震対策等費用を要する事業が控えております。グリーンシティが陳腐化しないように、皆様からお預かりしている管理費や修繕積立費を、有効かつ有意義に役立てたいと思っています。また、今後の資金繰りを考慮した長期計画を立てなければならない重要な一年となります。広報誌の「グリーンだより」も今秋には、300号を迎える年になります。盛りだくさんの一年となります！

理事会では協議を進めていく中で、経過などの情報は可能な限りお伝えします。

グリーンシティも30年を超える新たな門出の年と意識していますので、皆様のご理解・ご協力を何とぞよろしくお願いします。

※ごみ出しルールについて

最近ごみ出しのルールが守られていないため、ごみが回収されずに残される事例が頻繁に発生しています。回収されなかったごみはグリーンシティの清掃員の方が後始末をしてくれていますが、このようなことが続くようであれば居住者による「立当番」も視野に入れて今後の対応をしなくてはなりません。

ごみの出し方については昨年の12月に配付した「ごみの出し方」を参照して、間違いないように出してください。

なお、出し方の分からぬものについては、加古川市環境第1課（☎：079-426-1561）に問い合わせて確認した後、該当する日に出してください。

修繕委員会からのお知らせ

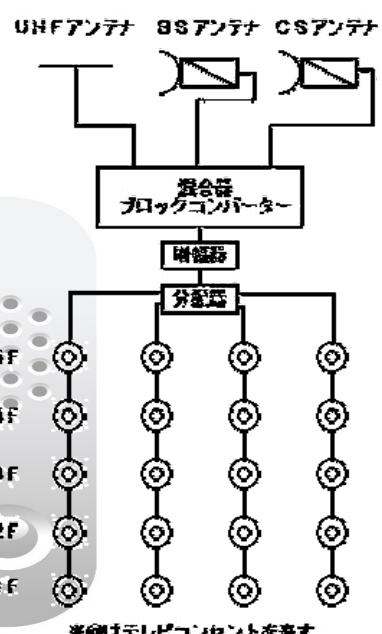
昨年末12月31日の朝にE棟のテレビ信号受信機器（E棟全戸に受信した信号を供給している機器）が故障して、各ご家庭でテレビが映らない事象が発生しました。

年末年始で休業している業者が多く、迅速な対応ができなかつたにもかかわらず、居住者の方々からは厳しい苦情もなく、寛大な対応をしていただきありがとうございました。

今後は、予期せぬ事故に備えて主要な機器については、予備品をストックして対処していきたいと考えていますのでご理解をお願いします。

※居住者の皆様へ

今回の事象の原因として、各戸に附属しているアンテナ端子が改造されていることも確認されました。アンテナ端子を無断で改造すると出力レベルが低下し、自宅のみならず他のご家庭のテレビにも影響を及ぼし映らなくなります。リフォーム等でアンテナ端子を改造する時は、必ず管理事務所に届け出て許可を得てから工事をしていただきますようお願いします。



安心してください！防災やってますよ！

阪神・淡路大震災から21年、東日本大震災から5年、この間にも多くの自然災害が発生しました。「災害」は絵空事では無く、自分の所にも実際に襲ってくる可能性があることを知ることになり、防災活動への関心や防災意識といった「防災」という言葉そのものに関心が高まったのです。でも「防災とは？」本当のところ、何をすれば良いのかは21年経った今でも理解できていないのが現状です。

全国各地では様々な防災講座や防災講演会が開かれています。しかし、私の考える防災とは少々違うように思います。例えば「災害って何だ」「災害が発生した後にはどうすれば良いのか」「地震はどうやって起こるのか」「津波が発生すればどうするのか」「地震の揺れからどう身を守るのか」「水害発生時にはどうすれば良いのか」、更には災害因（災害の原因）を特定もせず一様に「あなたの避難所は」と防災マップ作り、挙げ句の果てには「家屋の耐震工事は誰に頼むのか」「補助金ができるので耐震工事をしましょう」「災害発生後に必要な備蓄品や防災用品」等と命を守る活動を通り過ぎて、セールスになっている講座すら見受けられます。確かに防災講座や講演会では多くの有用な情報も得られるのも事実ですし、耐震補強や備蓄品の買い揃えも大切なことです。でも「命を守ることのできる人づくり」には、どうも繋がらない気がします。



全国的な現状は、参加者がいつも一緒に、参加者が少ないので責任出席、特に講座・講演会の内容が「地震の起こるメカニズム」という物理や地学的なものだと、どうも自分の日常生活に繋がらず「だから何？」となってしまっています。

地域の防災訓練では、通報・初期消火・救助・避難訓練。実際に避難所まで歩いたり、災害時要援護者と呼ばれる人と接したりしながら、イザという時の動きを実際に確認等が行われています。でも参加者の顔ぶれがいつも一緒に少人数。「命を守る学び」であるのにもかかわらず「防災活動が拡がらないのか？」。

どうして防災講座・講演会・訓練等の防災活動に参加する人が少ないので？同様の現象が全国各地で起こっています。それは、防災に熱心な人が難しい顔をして眉間にしわを寄せながら「防災訓練に出てこない。どうなっているのだ！」と腹を立て、怒りをまき散らす方を見かけます。地域内でこの状態だと防災訓練に参加したくなつたとしても、敷居が高く感じてしまうのではないかでしょうか。確かに「防災」とは命に関わる重大な活動です。しかし「重大な活動であればこそ

人々は参加するはず。参加するのは当たり前だ」と考えるのは、あまりにも単純な発想です。

「何に腹が立つのでしようか？」防災活動に出てこない人には、2種類の方がいることを理解しましょう。ひとつは「**参加したくても都合や事情があり参加できない人**」、もうひとつは「**防災活動に興味もわかず、必要性もさほど感じていない人**」です。「バカヤロウ！防災活動は重要なもので参加するのは当たり前だ！」とお叱りの声が聞こえてきそうです。

では皆様にお尋ねします。「日々生きていく為の重要項目を5つ挙げてください」あなたは何と答えますか？



「衣・食・住・排泄」+「仕事や家庭」。その中には「仕事は休めない」「休みは身体を休めたい」「小さな子どもをかかえての子育て中」「受験生がいる」「介護が忙しい」「休日は家族で遊びたい」等、「防災」なんて出てこないのでしょうか？生きるために重要な5項目にすら出てこない「防災」。そんな防災講座、講演会や訓練には絶対参加すべきだと強制するのは、人の事情も判らず、日々の多様な暮らしを完全に無視した考えではないでしょうか？

いくら命に関わる活動といっても、このような考え方では、どこか暮らしの感覚から離れて現実味を欠いたものになっているから参加者が増えないので。その原因是、企画や主催する伝え手側が「**防災とは何か**」を定義できていない為に発生する「**全国共通防災お困り事**」なのです。だから大災害が発生して一時的に高まる防災意識も継続できないということになります。

近年、防災活動そのものにもある程度見直しが行われてきました。「**楽しくて参加しやすい防災活動**」が行われています。ワークショップ、クイズ、ゲームと様々に工夫され「家族でも楽しめそうな防災イベント」があります。でも「**楽しく防災**」とはいえ、「**防災**」の文字から離れることができないのも現実です。

もっと日々の暮らしの延長線上に潜ませたかな防災活動「**後で考えれば、これって防災だよね**」となるようなものを考える必要があります。今更ながら「**防災**」とあらためて掲げる必要すらないのではないで？「**人の関心を引く、心根をくすぐる**」楽しく面白い企画をつくり参加者を増やす「**工夫**」が必要です。ヒントはグリーンシティ防災会が掲げる「**防災を防災と語らずとも防災の役割を果たすこと**」の実践です。



そのひとつに日常の中での「**あいさつ運動**」があります。簡単な挨拶がお互いを守りあえる組織になります。でも「**あいさつが防災？**」と思われるかもしれません。そんな時、みなさん胸を張って言ってください「**安心してください！これも防災訓練です！**」つづく

自治会からのお知らせ ふれあいもちつき大会

あけましておめでとうございます。



昨年末の「ふれあいもちつき大会」は、天気に恵まれて、お年寄りから赤ちゃんまでたくさんの人たちに参加していただき無事終了することができました。

お手伝いをいただいた各団体の皆様どう
ありがとうございました。

おもちを
お配りした
お年寄りの方
にも大変喜ん
でいただきました。



「ふれあいバスツアー」参加者募集

3月12日(土)に走る県民教室助成金を利用して、三田市・神戸市北区をメインとした「ふれあいバスツアー」を以下のとおり実施します。

今回は人類の起源をテーマに計画しました。

「ふれあいバスツアー」実施要領

開催日：平成28年3月12日(土)

参加資格：グリーンシティ居住者

小学生以下は保護者同伴

募集人数：35名(先着順)



参加費用：1,500円/人(当日徴収)

※申込用紙は後日配布します。

タイムスケジュール

9:00 グリーンシティ出発

10:15 人と自然の博物館(見学)

12:00 神戸フルーツフラワーパーク
(昼食・見学)

14:10 めんたいパーク(見学・お買い物)

16:00頃 グリーンシティ到着

小学校PTAからのお知らせ

あけましておめでとうございます。

本年もPTA活動にご理解ご協力をよろしくお願いします。

少年団からのお知らせ

新年あけましておめでとうございます。

本年も役員一同、力を合わせて頑張っていきますので少年団活動にご理解とご協力を賜りますようどうぞ宜しくお願ひします。

こんなこと知ってましたか？

人と人との関わり方の根幹になる、母(親)と子の関係性をしっかりと築いていく。そんな子育てを大切にし、たとえ幼くても一人の人間として子どもと向き合い、子どもの気持ちに寄り添うことを常に忘れずにいましょう！！

そして、これまで、甘えさせること、叱ることの大切さをお話ししてきましたが、叱った後は特に、子どもの気持ちに寄り添うために、以下の3つのポイントを心がけましょう！！

①表情・言動をよく見ること

子どもは時に気持ちと言動が違っています。「キレイ！」などと言いながら、不安そうに親を見ていることもあります。言動だけにストレートに反応するのではなく、表情もじっくりと見てみましょう！！

②子どもの立場に立って考えること

親(大人)が、自分を子どもの立場に置き換えてみると案外その気持ちが理解できるものです。思い当たることがあったら、「～だったね」と言葉に表して、子どもに共感しましょう！！

③ゆとりを持つこと

時間の上でも気持ちの上でもゆとりがないと子どもに寄り添うことは難しくなりますね！？仕事や家事で気持ちをうまく切り替えたり、周りの誰か援助者を探したりして、親(大人)自身がまず、心を安定させましょう！！

☆3つのポイントを押さえた、例「兄弟ゲンカ」より・・・

ゲンカをよくする場合、どうしても上の子を叱る回数が増えていませんか？そんな時、上の子の退行(低い年齢に戻る)現象が重なっていることがあります。

結論から言うと、叱る時間は短くして、その子そのものを認める言葉をかけ、弟(下の子)と仲よくしていたら褒めていくことです。そうすると、子どもは褒められることを多くしようとなります。マイナスの行動を叱って止めるよりも、プラスの行動を多くする手立てを考える方がいいのではないでしょうか？！また、下の子には競争心もあるので、「お兄ちゃんと同じように～してみたかったんだね」というように子どもの成長欲求などは、認めていきましょう。

このように、子どもは上の子、下の子として分けへだてるのではなく、あくまでも一人ひとりとして見てもらいたいのです！！！



12月のニューフェース

DOOOO OOさん

中学校PTAからのお知らせ

<<廃品回収のお知らせ>>

日 程： 1月31日(日)

雨 天： 2月 7日(日)

※当日の朝8時までにお出しください。

ご協力よろしくお願ひします。



ご意見、ご要望などをどしどしお書きください。(ご記名をお願いします)

2月												1月															
14 日	13 土	12 金	11 木	10 水	9 火	8 月	7 日	6 土	5 金	4 木	3 水	2 火	1 月	31 日	30 土	29 金	28 木	27 水	26 火	25 月	24 日	23 土	22 金	21 木	20 水	19 火	18 月

燃えるゴミ収集日

燃えないゴミ収集日

燃えるゴミ収集日

燃えるゴミ収集日

かん収集日

中学校PTA廃品回収

燃えるゴミ収集日

ペットボトル紙衣類収集日

燃えるゴミ収集日

なかよし広場

粗大ごみ収集日

燃えるゴミ収集日

ひん収集日

燃えるゴミ収集日

燃えるゴミ収集日

修繕環境整備合同委員会

建国記念の日

広報委員会

専門部長会

修繕委員会

自治会役員会

理事会





前日からのごみ出しは、放火など犯罪を誘発する危険があるため、禁止しています！

こんな意見がありました

- もちつき大会、楽しく参加しました。なかなか杵と臼を見る機会がないので子供は興味津々だったようです。 A棟居住者
- ふれあいもちつき大会、おもちゃやわらかく、いかやきもおいしかったです。役員の皆様ありがとうございました。 D棟居住者
- 「ふれあいもちつき大会」が“世代間交流事業”と“兵庫安全の日推進事業”と共に“人権啓発推進事業”も一環であることも周知されたかった。 E棟居住者

●もちつき大会、とっても美味しくて楽しかったです。役員の皆様、ありがとうございました！ B棟居住者

●玄関前に植えていただいているお花を見て、子供との会話が弾みます。いつもありがとうございます。 F棟居住者

“なかよしひろば”開催
新春のお喜びを申し上げます。
今年も、すてきな笑顔と楽しい会話で、元気を分け合いましょう！
お待ちしています。

日 時： 1月23日（土）
9時30分～12時
場 所： 集会所ホール



今月のクイズ

<漢字の足し算>

□に入る漢字は何でしょう？

(例) 女+生=□ → (答) 姓

- | | | |
|---------|--------|----|
| ①月+要=□ | ④木+目=□ | ⑦続 |
| ②魚+里=錦□ | ⑤谷+欠=□ | ⑧望 |
| ③竹+合=□案 | ⑥火+火=□ | 胃□ |

先月号の正解

- ①節 ②率 ③復
④観 ⑤機 ⑥善
正解者30名の内
厳正な抽選の結果
5名の方に図書カ
ードを進呈します。



by 南雲風助（なぐもふうすけ）

応募用紙

- | | |
|---|---|
| ① | ④ |
| ② | ⑤ |
| ③ | ⑥ |

1月の答え

どしどしご応募ください！ 応募締め切り日：1月31日
提出場所：管理事務所

フリガナ
氏名